



平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月8日

上場会社名 株式会社 昭和真空
 コード番号 6384 URL <http://www.showashinku.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 小俣 邦正

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 田中 彰一

TEL 042-764-0385

四半期報告書提出予定日 平成29年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	2,065	1.8	232	1.8	221	21.0	150	6.1
29年3月期第1四半期	2,028	3.7	228	48.6	182	20.2	160	8.5

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 139百万円 (22.9%) 29年3月期第1四半期 113百万円 (23.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	24.51	
29年3月期第1四半期	26.09	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	13,298	7,185	54.0	1,166.71
29年3月期	11,787	7,292	61.9	1,184.14

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 7,185百万円 29年3月期 7,292百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		40.00	40.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		0.00		40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,000	34.9	620	3.4	620	20.5	560	31.4	90.93
通期	10,700	23.8	940	0.2	930	3.5	770	8.4	125.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	6,499,000 株	29年3月期	6,499,000 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	340,327 株	29年3月期	340,287 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	6,158,686 株	29年3月期1Q	6,158,713 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足説明	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成29年4月1日～平成29年6月30日)における世界経済は、総じて緩やかに回復しました。米国では好調な設備投資を背景に着実な回復が続き、欧州でも設備投資に持ち直しの動きがあり、中国では生産設備の高度化・自動化の進展により需要は堅調に推移しました。国内経済については、個人消費が伸び悩む一方で、アジア地域からの需要増加を背景に輸出が持ち直しの動きを見せるなど、緩やかな回復傾向となりました。

当社グループを取り巻く経営環境を見ると、スマートフォン・車載関連を中心に電子部品需要が堅調に推移しました。電子デバイスメーカー各社の設備投資も前向きな姿勢が継続しました。また、各社の次世代製品開発への取り組みは活発に推移しました。

こうした環境の中、当社グループでは好調な市場を捉え、既存分野への深掘りによる拡販を推進するとともに、既存技術応用分野や新規市場の開拓に注力しました。また、次世代製品に向けた電子デバイスメーカーからの依頼実験や製品開発にも継続性を持って取り組むことで事業の拡大を図ってまいりました。

生産面では、前期の受注残及び好調な受注を背景に生産量が増加し、稼働率は良好に推移しました。また、メンテナンス性改善や社内検査の強化など、さらなる品質向上に取り組みました。その一方で、装置業界全体が好調に推移していることから、資材の調達では部材が集まりにくいという状況が見られました。

損益面では、安定した稼働率とグループ一丸となって取り組んでいるコストダウンの推進等により利益率の改善に努めました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、受注高は28億22百万円(前年同四半期比58.0%増)、売上高は20億65百万円(同1.8%増)となりました。

損益につきましては、経常利益2億21百万円(前年同四半期比21.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益1億50百万円(同6.1%減)となりました。

セグメント別の状況はとおりであります。

①真空技術応用装置事業

真空技術応用装置事業の業績につきましては、受注は主にスマートフォンに搭載される電子部品、光学部品向けの製造装置が好調に推移しました。売上は装置受入整備状況など客先都合等により、第2四半期以降に延期となった案件がありました。

受注高は23億86百万円(前年同四半期比68.5%増)、売上高は16億29百万円(同1.7%減)、セグメント利益は3億32百万円(同4.8%減)となりました。

業界別の状況は以下のとおりです。

(水晶デバイス装置)

水晶デバイス業界では、周波数調整工程向けの装置を中心に受注が好調に推移しました。

水晶デバイス装置の受注高は11億11百万円(前年同四半期比66.3%増)、売上高は6億10百万円(同6.5%増)となりました。

(光学装置)

光学業界では、主に反射防止膜成膜用装置の受注が堅調に推移しました。

光学装置の受注高は7億99百万円(前年同四半期比48.8%増)、売上高は4億42百万円(同27.3%増)となりました。

(電子部品装置・その他装置)

電子部品業界では、既存技術応用分野及び新規市場の開拓に地道に取り組んできた成果が徐々にではありますが出てきました。

電子部品装置・その他装置の受注高は4億74百万円(前年同四半期比126.1%増)、売上高は5億76百万円(同21.8%減)となりました。

②サービス事業

サービス事業につきましては、当社装置ユーザーに対する定期的な稼働状況確認など積極的に働きかけることで、装置の改造・修理や消耗品の販売に努めました。

サービス事業の売上高は4億36百万円（前年同四半期比17.8%増）、セグメント利益は1億8百万円（同30.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は101億88百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億27百万円増加しました。これは主に仕掛品が14億62百万円、原材料が67百万円増加したことによるものです。固定資産は31億10百万円となり、前連結会計年度末に比べ15百万円減少しました。これは主に有形固定資産が減価償却等により16百万円減少したことによるものです。

この結果、総資産は132億98百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億11百万円増加しました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は50億2百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億9百万円増加しました。これは主に賞与引当金が86百万円、役員賞与引当金が70百万円減少したものの、前受金が7億65百万円、電子記録債務が6億17百万円、支払手形及び買掛金が3億91百万円増加したことによるものです。固定負債は11億10百万円となり、前連結会計年度末に比べ9百万円増加しました。これは主に退職給付に係る負債が6百万円、繰延税金負債が2百万円増加したことによるものです。

この結果、負債合計は61億13百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億18百万円増加しました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は71億85百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億7百万円減少しました。これは主に利益剰余金が95百万円、為替換算調整勘定が18百万円減少したことによるものです。

負債が増加し純資産が減少した結果、自己資本比率は54.0%（前連結会計年度末は61.9%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、現時点では平成29年5月10日付「平成29年3月期決算短信」にて発表いたしました業績予想に変更ありません。

なお、当社グループを取り巻く市場動向を踏まえ、今後の業績推移につきましてはより慎重に注視し、連結業績予想数値に見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,679,437	3,583,524
受取手形及び売掛金	2,678,380	2,687,057
商品及び製品	3,697	3,230
仕掛品	1,993,977	3,456,456
原材料及び貯蔵品	140,414	208,917
繰延税金資産	176,115	128,409
その他	41,559	164,488
貸倒引当金	△52,495	△43,915
流動資産合計	8,661,086	10,188,169
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	617,911	603,733
機械装置及び運搬具(純額)	69,240	60,868
土地	2,066,249	2,066,249
その他(純額)	82,039	87,681
有形固定資産合計	2,835,441	2,818,533
無形固定資産		
リース資産	11,377	9,992
その他	76,312	72,248
無形固定資産合計	87,689	82,240
投資その他の資産		
投資有価証券	192,810	199,723
その他	10,668	10,260
貸倒引当金	△211	△279
投資その他の資産合計	203,267	209,703
固定資産合計	3,126,399	3,110,477
資産合計	11,787,485	13,298,647

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,312,989	1,704,685
電子記録債務	1,255,771	1,873,633
短期借入金	111,732	111,972
リース債務	21,237	22,354
未払費用	171,914	179,718
未払法人税等	105,874	37,883
前受金	4,611	770,227
賞与引当金	194,758	108,193
役員賞与引当金	70,000	-
製品保証引当金	53,000	45,000
工事損失引当金	28,320	11,680
その他	63,170	137,113
流動負債合計	3,393,382	5,002,462
固定負債		
社債	450,000	450,000
長期借入金	50,000	50,000
リース債務	33,563	34,400
繰延税金負債	49,038	51,259
退職給付に係る負債	443,166	449,620
長期未払金	75,571	75,533
固定負債合計	1,101,339	1,110,813
負債合計	4,494,722	6,113,275
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,177,105	2,177,105
資本剰余金	2,753,975	2,753,975
利益剰余金	2,463,577	2,368,182
自己株式	△278,137	△278,181
株主資本合計	7,116,520	7,021,082
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	103,815	108,614
為替換算調整勘定	72,327	53,817
退職給付に係る調整累計額	99	1,857
その他の包括利益累計額合計	176,242	164,289
純資産合計	7,292,763	7,185,371
負債純資産合計	11,787,485	13,298,647

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	2,028,551	2,065,830
売上原価	1,434,705	1,456,178
売上総利益	593,845	609,651
販売費及び一般管理費	365,030	376,825
営業利益	228,815	232,826
営業外収益		
受取利息	285	438
受取配当金	142	149
受取賃貸料	2,884	483
物品売却益	2,951	-
その他	555	556
営業外収益合計	6,819	1,627
営業外費用		
支払利息	2,917	795
売上割引	3,002	1,261
為替差損	45,580	10,584
賃貸物件関係費	536	-
その他	886	778
営業外費用合計	52,924	13,420
経常利益	182,709	221,033
特別損失		
固定資産除却損	-	380
特別損失合計	-	380
税金等調整前四半期純利益	182,709	220,653
法人税、住民税及び事業税	1,655	21,884
法人税等調整額	20,352	47,814
法人税等合計	22,007	69,699
四半期純利益	160,702	150,953
親会社株主に帰属する四半期純利益	160,702	150,953

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	160,702	150,953
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13,983	4,799
為替換算調整勘定	△34,563	△18,510
退職給付に係る調整額	913	1,757
その他の包括利益合計	△47,633	△11,953
四半期包括利益	113,069	139,000
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	113,069	139,000

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	1,657,971	370,579	2,028,551
セグメント間の内部売上高 又は振替高	132	2,532	2,665
計	1,658,103	373,112	2,031,216
セグメント利益	348,720	82,706	431,426

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	431,426
セグメント間取引消去	5,721
全社費用(注)	△208,332
四半期連結損益計算書の営業利益	228,815

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	1,629,376	436,454	2,065,830
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,042	3,571	6,613
計	1,632,418	440,025	2,072,444
セグメント利益	332,112	108,122	440,234

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	440,234
セグメント間取引消去	1,386
全社費用(注)	△208,793
四半期連結損益計算書の営業利益	232,826

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 補足説明

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当第1四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日) (千円)	前年同四半期比(%)
真空技術応用装置事業		
水晶デバイス装置	610,655	106.5
光学装置	442,614	127.3
電子部品装置	576,106	78.2
その他装置	—	—
真空技術応用装置事業計	1,629,376	98.3
サービス事業		
部品販売	243,817	114.1
修理・その他	191,488	122.1
サービス事業計	435,306	117.5
合計	2,064,682	101.8

(注) 1. 上記の金額は販売価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②受注実績

当第1四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)			
	受注高(千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
真空技術応用装置事業				
水晶デバイス装置	1,111,507	166.3	2,097,227	231.1
光学装置	799,980	148.8	3,368,174	344.9
電子部品装置	474,891	226.1	978,105	82.2
その他装置	—	—	—	—
真空技術応用装置事業計	2,386,379	168.5	6,443,507	209.6
サービス事業				
部品販売	244,965	114.6	—	—
修理・その他	191,488	122.1	—	—
サービス事業計	436,454	117.8	—	—
合計	2,822,833	158.0	6,443,507	209.6

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③販売実績

当第1四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日) (千円)	前年同四半期比(%)
真空技術応用装置事業		
水晶デバイス装置	610,655	106.5
光学装置	442,614	127.3
電子部品装置	576,106	78.2
その他装置	—	—
真空技術応用装置事業計	1,629,376	98.3
サービス事業		
部品販売	244,965	114.6
修理・その他	191,488	122.1
サービス事業計	436,454	117.8
合計	2,065,830	101.8

- (注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。